

こんな
活動です

地域住民やこども園との合同避難訓練 ～小さい子の母親です。嬉しくて涙がでます。～

玉名	●活動名		●関係する学校名	
	地域との合同避難訓練		長洲町立長洲中学校	
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習	
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会
	0人		1人	
有 無 企業・NPO等との連携 有 無				

●活動の概要・特徴や工夫

中学校、こども園、地域住民等が連携して津波に対する避難訓練を実施している。中学生が近くのこども園へ乳幼児を迎えに行き、中学校の屋上までサポートする。避難場所の屋上まで、自力で階段を上ることができない乳幼児も多数おり、中学生のサポートでとても助かっている。

また、階段では高齢者を支えながら屋上までの誘導をしたり、屋上には椅子を用意したりと、高齢者の避難がスムーズにできるように積極的に支援している。

●活動の様子

近くのこども園へ迎えに行き、乳幼児を抱えて屋上にあがります。



小さい子の母親です。中学生が乳幼児を抱っこして避難する姿に、嬉しくて涙がでます。

屋上には高齢者のために椅子を運び

玉名管内の実践交流会で発表しました。



●地域学校協働活動における効果・成果

子供、地域、学校(教職員)

○平成30年度の「地域と学校の連携・協働」実践交流会で、「津波避難訓練」への取組を紹介した。その中で、生徒は「多くの人に参加してもらいたい。熊本地震の経験を生かしながら訓練をすることがとても大事である。」と述べていた。会場からは、「小さい子供の母親として嬉しくて涙がでます。こんなに心強いことはない。」と等の声が聞かれた。

○地区住民の参加も多く、作業中の格好の人もある。避難訓練では、校長、こども園長、区長等のあいさつがあり、中学校を核とした防災訓練の重要性が確認されている。

○地元警察は、「警察官の数も限られている中、このような取組はとても助かる。」と述べている。

○平成30年度文部科学大臣賞を受賞。(学校保健及び学校安全表彰)